



肅啓秋涼お備へる哉

孫は清穆之の末也申此

借和路水産上より飛

常之実係を有る故を長

は撰指身と身見し述

まら次力と申す故又彼

調査會よりとも現状を視

るに足成る安ふ下分

らりより實際効能を感す

ちり実業家とて教員相

を冷視するにの親良との

可し其業にの快歎とふ

故に力身は除け務実

地と學識とをさしめんと

強成は改正とて九月大

急防とてのし難らるる故



強は改正と云ふは月日大
急防と云ふは防の急
世の経今をとお得成大
造天のりる者実地句
論御子御心君と里丸
常と熱心家身と道隆
成とるは採擇とて各御
寺能大厚夜と回會
相甚ぶるは河と直友
裁決と程あり中を
可候何れもは佐能と

ある

九十一

松田

大隈任壽

副